

SDGs

実践例紹介コーナー

当所では、会員事業所の皆様の SDGs 経営のサポートとして『SDGs 取組診断』サービスを無料で実施しています。SDGs 経営は、「新たな市場の開拓」「売上の増加」「他社との差別化」「企業イメージの向上」「従業員の定着率向上」等、SDGs へ取り組むことで得られるビジネスチャンスもあり、SDGs への関心も高まってきています。すでに取り組み始めておられる事業所様も、何から始めていいかわからず取り組めていない事業所様も、まずは自社の現状を把握することが重要です。当所では、東京海上日動火災保険(株)の協力を得て、診断サービスを「無料」にて提供致します。診断サービスは当所ホームページよりお申込みいただけます。是非、ご利用ください。

今月のSDGs実践例紹介: 株式会社中部共同印刷



STEP 01

きっかけ

7年ほど前から何か地域貢献したいと考え、廃棄になる白紙を保育園や幼稚園へ寄付したり、地域の防災訓練に企業として唯一参加したりしていました。2年前小牧市の「SDGs 宣言」や愛知県の「SDGs 登録制度」に登録し、市民活動ネットワークから講師を招いて学習会を行い、より意識するようになりました。



STEP 02

2つの秘訣

①自分たちの活動を整理すること

今までやってきたことが SDGs の 17 のゴールのどこに位置しているか捉える

②軸を定め、できるところから手を付けること

「地域貢献」というテーマから出発し、自分たちにできることから変えていく



STEP 03

結果

「地域貢献」を軸に活動を見直したところ、多くの点で SDGs 活動につながる部分を再認識でき、また同時に課題も見つけることができました。まずは社内できるところからスタートして、徐々に社内へと浸透させていきたいと思えます。

印刷業は SDGs にはあまり向いていないかと訝しんだこともありますが、紙媒体の「必要な情報を必要なところへ届けることは情報伝達の根幹」という役割を理解し、特に非常時にはできることも多いと考え、前向きに取り組む姿勢につながっています。その甲斐あってか、徐々にビジネスにつながる部分も増えてきました。

地域貢献／パートナーシップの構築

- 小牧原小学校地区地域協議会、防災部会に参加
- 市民活動ネットワーク会員、こども未来館サポート企業登録
- 味噌保育園への行事参加
- 高校生インターンシップの受入

新しい団体や企業との関係の幅を広め、地域に貢献できる企業を目指しています。

廃棄物の再利用や資材の削減

- 紙、アルミ板(印刷版)の100%回収
- 環境に優しいストーンペーパーの名刺を使用
- 刷版を無処理版へ移行して廃液処理を30%以下に
- 保育園、幼稚園への白紙提供

特に園への紙提供は好評をいただいております。量に限りはあるが継続していきたいと考えています。

社内設備の整備、制度の見直し

- 階段やトイレに手すり、AEDを配置
- 全館LED化
- 機械ごと、部門ごとのエネルギー管理の実施
- 労働条件の整備、賃上げ

従業員にとっての働きやすさを考え、設備・制度両面から改善に取り組んでいます。



会社概要

1999年創業、創業から日刊・週刊新聞印刷を中心に専門誌・業界紙、タウン紙・フリーペーパー・チラシなどの印刷を幅広く行っている。2022年1月に「小牧市SDGs宣言」、2022年3月に「愛知県SDGs登録制度」を取得し、SDGs活動に取り組む。

代表取締役社長
高橋 伸幸



中小企業支援ナビ代表理事

中小企業診断士

中部共同印刷は SDGs の取組成果として地域参加や社員の待遇改善のみならず、「紙媒体だからこそ出来る非常時の情報伝達」という素晴らしい役割を見つけることが出来ました。その仕組みをビジネス化し市民のために継続できる取り組みになるよう期待しています。



長谷川 雅彦